

## 捲土重来を期して 再スタートを切る



第五〇回衆議院議員総選挙において、東海ブロック比例代表で立候補しましたが、落選となりました。政治経験のなかった私を国政の場に押し上げていただき、約三年間にわたり、厚くご支援いただきましたこと、まずは心より感謝申し上げます。衆議院議員としての一〇四七日間を振り返れば、さまざまなことがありました。

極的に取り組みました。現場で働く皆さまの処遇改善、データヘルス改革、サイバーセキュリティ強化、ウエルビーイングの推進など、取組は多岐にわたります。

特に力を入れた取り組みだこの一つは「合成燃料の国産化の推進」です。油田を持たない日本でも製造ができるこの合成燃料の可能性にいち早く注目し、その製造を通じて日本の国力強化に繋げたいとの思いから、先輩・同僚議員を説得し、国産バイオ・合成燃料議連を立ち上げました。その結果、日本初となる合成燃料を使用したデモ走行や日本初の実証プラントの稼働が実現しました。この取組みはまだ道半ばですが、必ず日本経済を強く支えるものになると考えています。

議員生活のうち四〇〇日間は、文部科学大臣政務官兼復興大臣政務官も務めさせていただきました。日本を再び、世界をリードする科学技術大国とするべく、Spring8（大型放射光施設）の高度化の後押しを行うとともに、文化立国の実現に向けて、各G20文化大臣会合などにおいて、各国大臣らとの交流を積極的に行いました。



山本左近の活動はこちら



H.P. YouTube Twitter Facebook Instagram

これらの活動と並行して、常に意識していたのは地元豊橋、三河地域の振興です。地域を支えるインフラ整備や地場産業の発展、災害復興支援や防災減災に務め、皆さまの暮らしの安心を守る活動を続けて参りました。

私は一度、議員の職を離れることになりましたが、これらの歩みを止めるわけにはいきません。F1レーサーとして最先端の科学技術に触れ、国際舞台で戦ってきたからこそ、身につけることができた幅広い視野と国際感覚は、今後より複雑化する国際舞台の中で、役立つ力だと考えています。

地元豊橋のために、日本の国益のために、そして、日本をまた国際社会の中心で輝く国とするために、再度私の持つ力のすべてをかけさせていただきます。このように強く思っています。必ずや捲土重来を果たすことができるよう、あきらめず前を向いて全力で走ってまいります。引き続き、ご指導・ご支援のほど、よろしくお願致します。

前衆議院議員

# 山本左近



不屈の  
三河武士

やまもと・さこん  
愛知県豊橋市出身。1982年7月9日生まれ。42歳。豊橋南高校卒業、南山大学。11歳、レーシングキャリアスタート。19歳、単身渡欧。24歳、当時日本人最年少F1ドライバーデビュー。30歳、帰国後、医療介護福祉の世界に。医療法人・社会福祉法人さわらびグループの統括本部長就任。2019年第25回参議院議員通常選挙（比例代表）に自民党公認で立候補し、落選。2021年第49回衆議院議員総選挙（東海ブロック比例代表）に自民党公認で立候補し初当選。以来、厚生労働委員会・経済産業委員会等に所属。初当選一年目で文部科学大臣政務官兼復興大臣政務官に抜擢され400日間務める。自由民主党モータースポーツ振興議員連盟事務局長、カーボンニュートラルのための国産バイオ燃料・合成燃料を推進する議員連盟事務局長などに就任。英語、スペイン語を話すマルチリンガル。

# 山本左近 3年の実績

2021

## 日本の技術力で気候変動対策と経済の好循環を

- 合成燃料の国産化の推進(カーボンニュートラルの切り札)
- ▶国産バイオ・合成燃料構建を立ち上げ(2022年10月)
- ▶日本初、合成燃料を使用したデモ走行を実施(2023年5月)
- ▶エネオスによる日本初の実証プラント稼働を実現(2024年9月)
- ▶世界との競争に勝つために、2030年前半に商用化の前倒しを後押し



## モータースポーツの振興を強かに推進

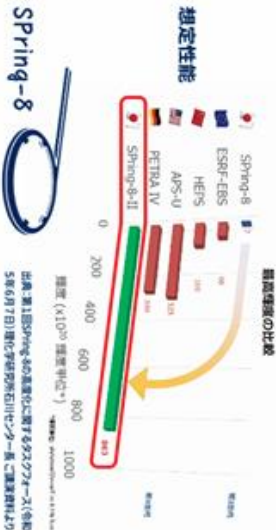
- 自民党モータースポーツ振興推進事務局長に就任(2021年11月)実績は次のとおり。
- ▶スポーツ庁の所管にモータースポーツを位置付け(2022年4月)
- ▶F1日本グランプリに史上初めて現役の総理大臣として岸田総理の出席を実現(2022年10月)
- ▶ラリージャパンを愛知岐皇にて開催(2022-2023年11月)
- ▶ MotoGPに宣伏広治スポーツ庁長官が出席(2023年10月)
- ▶フォーミュラEを国内初の公道レースとして東京にて初開催(2024年3月)
- ▶F1日本グランプリに杉子女王殿下のご臨席を賜る(2024年4月)
- ▶第1回王子女王杯全日本スーパーフォーミュラ選手権を開催(2024年7月)



2022年8月12日~2023年9月15日(400日)  
文部科学大臣政務官・復興大臣政務官

## 日本が世界をリードする科学技術大国へ

- Spring-8高度化を後押し
- ▶Spring-8(大型放射光施設)は、太陽の100億倍もの明るさに達する放射光を使い、物質の構造を調べることが出来る巨大な顕微鏡のようなもの。生命科学や環境、新材料開発など、この研究の成果が私たちの生活の豊かに貢献している。
- ▶圧倒的な世界一の輝度をもつ「Spring-8-II」へのアップグレードの進捗をつけた。



- STEAM教育の推進
- ▶サイエンスアートによるイノベーションの推進
- ▶予測不可能な変化の時代を「自ら考え、創っていく力」を育む教育の推進

## 持続可能な社会保障制度の構築

- 医療・介護・保育等を担う方々の賃上げを実現
- 医療・介護等のデータを利活用するデータヘルス改革の取り組みを推進
- デジタル化に伴うサイバーセキュリティの強化を提言
- ウェルビーイング計画推進特別委員会にて誰もが幸福を感じられる社会を提言
- 孤独・孤立対策特別委員会にて誰もが繋がりを持てる社会を提言
- 障害者と健常者の「はざま」に、苦しみや損失を減らし、支援に取り組む
- 更親制度の啓発や、更親家庭を支えられる社会の実現に取り組む



超“幸”齢社会をデザインする

2024

## 政策立案に向けた積極的な活動

国会質問10回 委員会出席時間381時間  
自民党部会出席数1358回 (2024年9月時点)

## 豊橋、三河地域の振興

- 地球を支えるインフラ整備に尽力
- ▶浜松湖西豊橋道路の早期実現を国指す
- ▶魂美半島道路の構想を具体的なプロジェクトへ後押し
- ▶矢作川・豊川 CNプロジェクトを支援
- ▶三河港のカーボンニュートラルプロジェクト形成を支援
- 地球を支え、暮らしてを守る
- ▶農業など地域の強みを生かしたスタートアップエコシステムの支援
- ▶学校部活動の地域移行の継続的支援

## 文化と経済の好循環を実現する文化立国へ

- G20文化大臣会合にてグローバルな視点をいかし各国大臣らと積極的な文化交流
- アニメコンテンツ制作現場支援タスクフォース提言を取りまとめ
- 60億円若手クリエイターを支援する文化庁初となる大型基金を実現、自民党文化立国調査会の一員としても後押し
- 佐渡金山のユネスコ世界文化遺産の登録を目指す(尽力)を実現

## 国益と世界全体の利益を増進する外交を推進

- 国連WFP(世界食糧計画)構建事務局長に就任、ウガンダ、エチオピアの現地視察し、大臣らと食料、食料のみならず、教育、保健、気候変動対策などを支援
- 台湾を含む、アジア太平洋地域の国会議員を中心とする国際組織「APU」構建事務局長代理に就任。総会を日本で開催し、積極的な議員外交を行い、地球全体の平和と繁栄に貢献
- 自民党青年局国際部部長として、訪台や国内での表敬訪問対応など継続的な関係性構築。日台関係の更なる深化に尽力
- 国際基準、国際ルールの策定を重要施策として提言



山本左近 法律事務所

〒440-0806 愛知県豊橋市八町通1丁目14-1 TEL. 0532-21-7008 FAX. 0532-21-7003 info@sakonyamamoto.com

お名前、ご住所等のご確認をお願い

お名前やご住所に変更がありましたら、山本左近事務所までご連絡ください。山本左近を応援して下さる皆さまに今後も情報をお届けできるよう努めて参りますので、引き続きご指導を賜りますようお願い申し上げます。

封筒資料